



四万十市郷土博物館散歩マップ (片道約800m 徒歩約15分)

四万十市郷土博物館ご案内

【会館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)

【料金】大人440円、高校生:170円

※中学生以下/65歳以上…無料

【休館日】毎週水曜日

山内一豊の弟、康豊の居城であった中村定城跡に建つ城の形をした博物館。

四万十市郷土博物館は、桜の名所「為松公園」の一画に、愛知県の犬山城をモデルに建築されており、天守閣風の館からは、四万十川、東山を臨み、市街地を一望することができる。

館内には、土佐一条家にまつわるものや、日本では四天王寺や法隆寺などに4本しか確認されていない七星剣、幕末の志士、坂本龍馬らと親交があった樋口真吉が残した勤王運動に関する日記『遺倦録(けんけんろく)』及び『南暎(なんめい)詩画帳』の中から見つかった、中岡慎太郎の漢詩(暗殺された慶応3年(1867)に書いたとみられる)、明治を代表する中村出身の社会主義者で、明治44年(1911)大逆事件に連座し、同志とともに処刑された“幸徳秋水”に関する貴重な資料など四万十郷土のさまざまな資料を展示している。

